



【証券コード：9651】

日本プロセス株式会社 決算説明会

2020年5月期 第2四半期



2020年1月17日

1. 2020年5月期 第2四半期連結決算

2. 第5次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

1. 2020年5月期 第2四半期連結決算

2. 第5次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

連結決算の概況 (期首公表値)

単位：百万円

	期首 計画	計画 対比	実績	前年 対比	前年
売上高	3,650	+22 +0.6%	3,672	+389 +11.9%	3,283
営業利益 (利益率)	350 (9.6%)	▲7 ▲2.1%	342 (9.3%)	+43 +14.4%	299 (9.1%)
経常利益 (利益率)	370 (10.1%)	+2 +0.7%	372 (10.1%)	+46 +14.2%	326 (9.9%)
四半期純利益 (利益率)	250 (6.8%)	+0 +0.1%	250 (6.8%)	+2 +1.1%	247 (7.5%)

売上高

前年比： +389百万円 (+11.9%)

産業・公共、自動車、特定情報、組込で受注環境が好況、オフショア開発も堅調

営業利益

前年比： +43百万円 (+14.4%)

受注条件の改善、生産性向上による

経常利益

前年比： +46百万円 (+14.2%)

営業利益の増加による

四半期純利益

前年比： +2百万円 (+1.1%)

前年は特別利益があったことによる

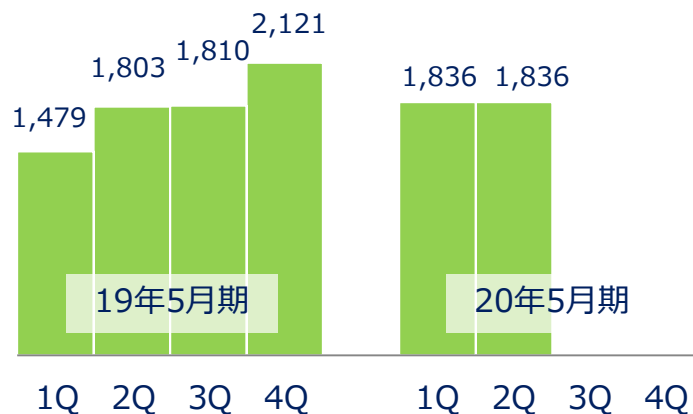
【トピックス】

- 働きやすい環境への投資
 - ・業容拡大に伴い、横浜事業所を移転/拡張
- IPD大連100名体制、連結子会社化
- 株主還元を目的に20万株の自己株取得を実施
- 増配：中間/期末13円、通期前年25円→今期26円
- 裁量労働制を廃止
- 労務管理のリアルタイム化
- インターバル勤務制度スタート

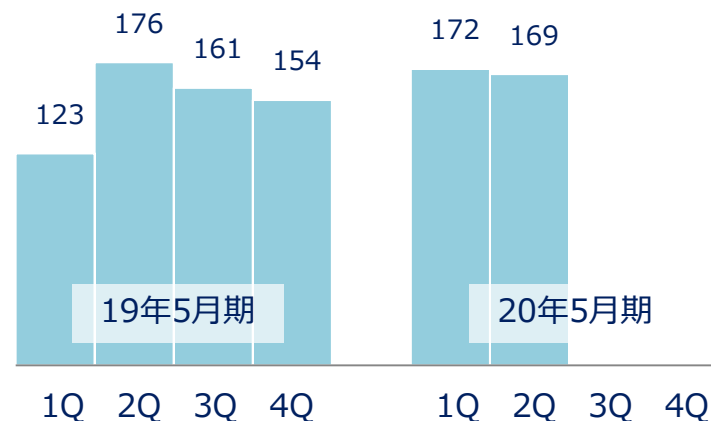
2020年5月期第2四半期 連結決算の四半期推移

単位:百万円

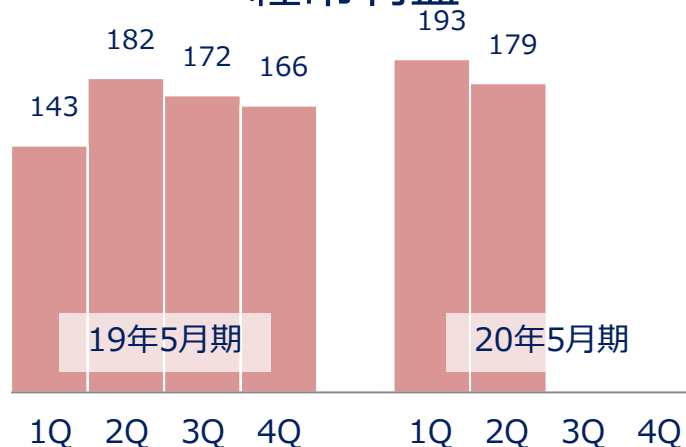
売上高



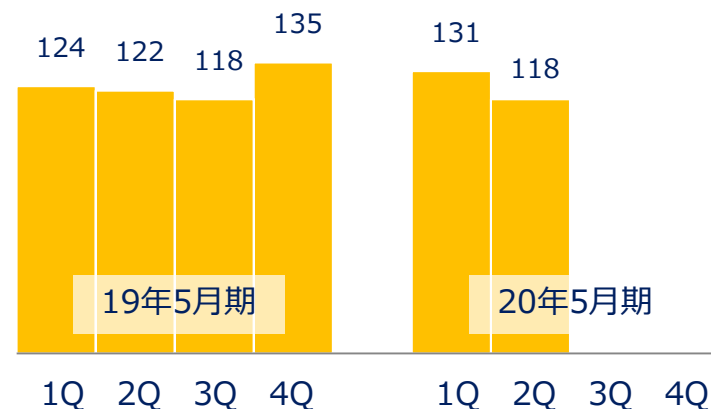
営業利益



経常利益



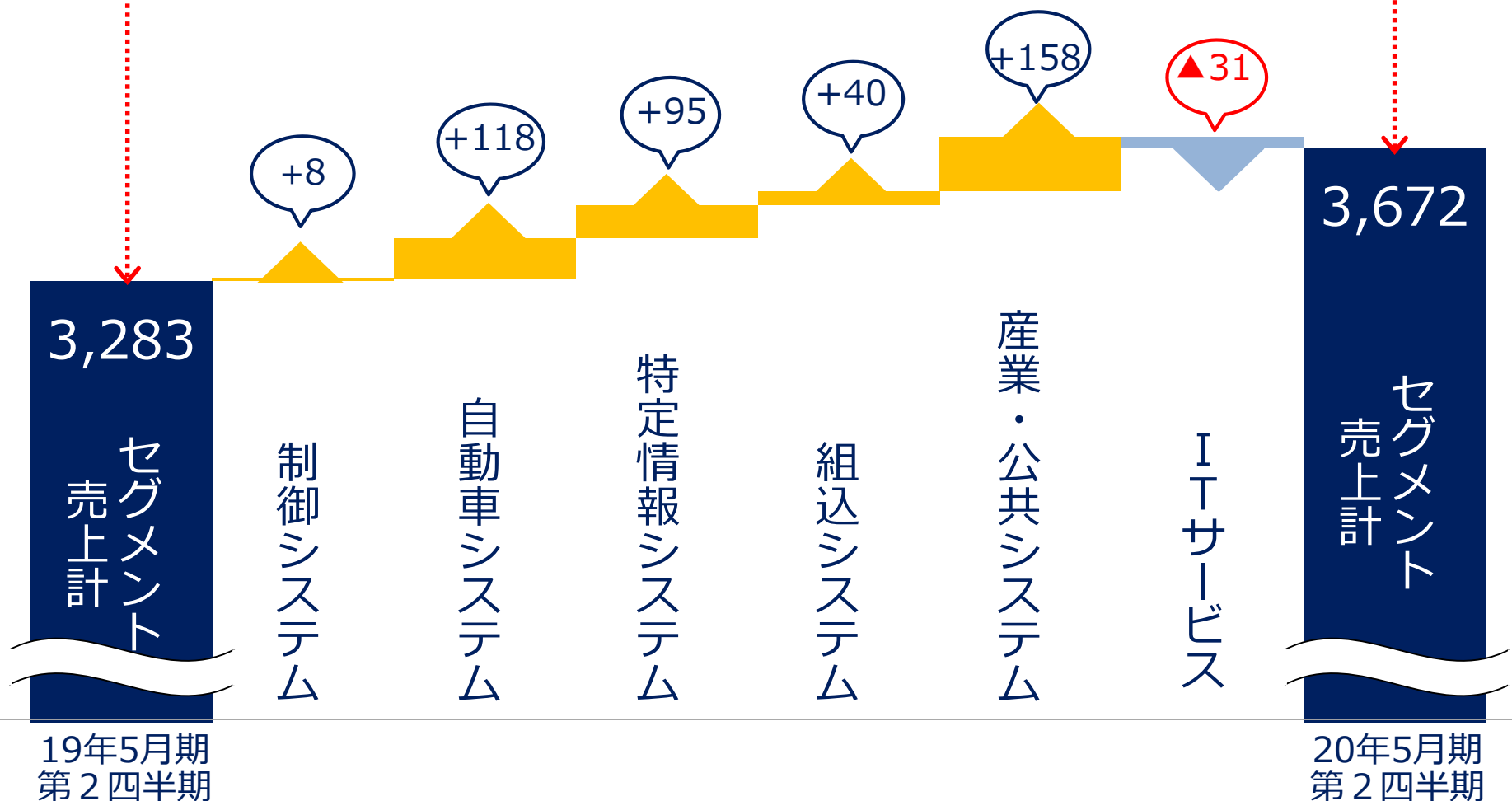
当期純利益



セグメント別売上増減

単位：百万円

389百万円の増加 (前年同期比：+11.9%)



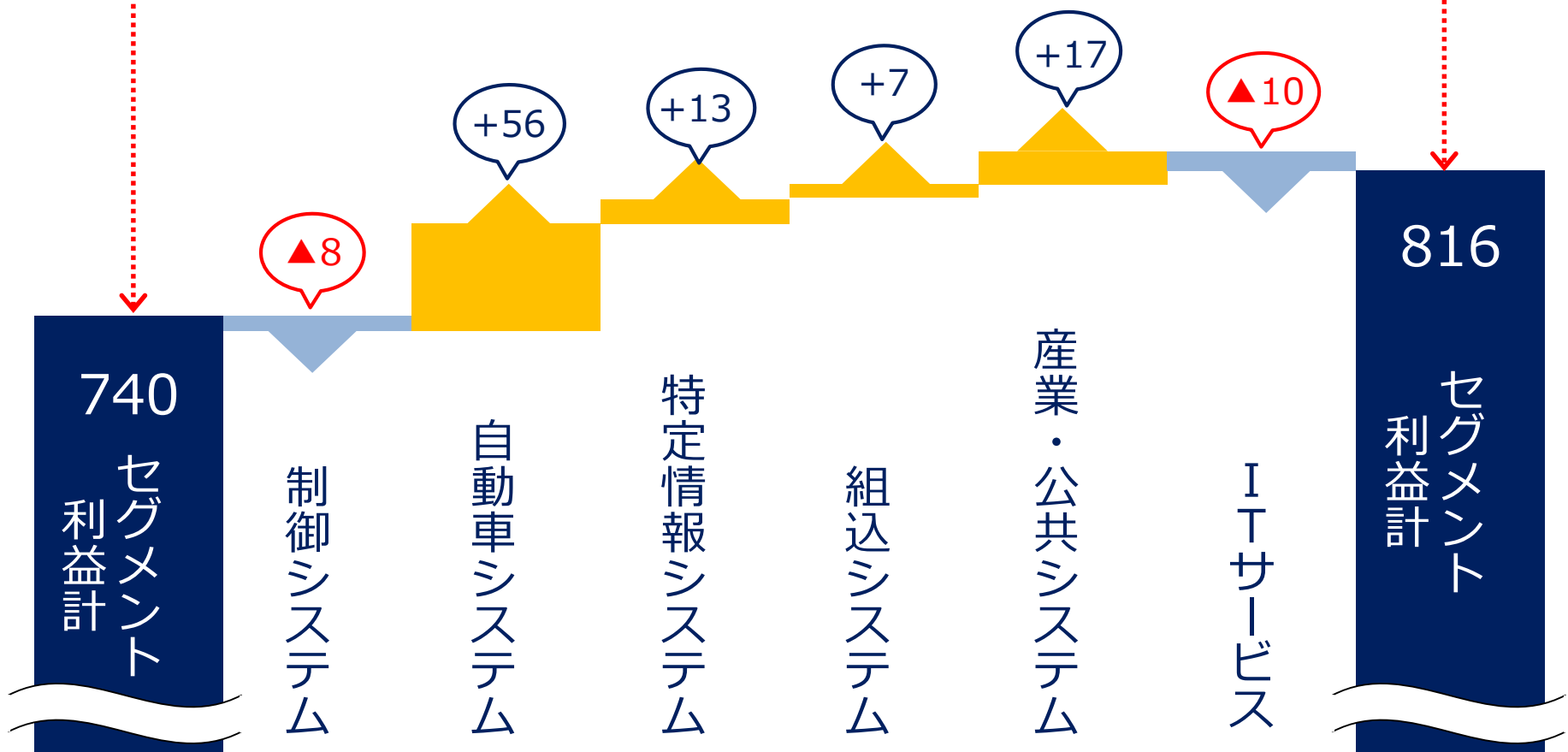
19年5月期
第2四半期

20年5月期
第2四半期

セグメント別利益増減

単位：百万円

75百万円の増加 (前年同期比：+10.3%)



19年5月期
第2四半期

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

20年5月期
第2四半期

制御システム

- 火力発電所向け監視・制御は開発量が減少、プラント制御、配電自由化にシフト
- 東京圏輸送管理（ATOS）と在来線運行管理で開発量が増加、新幹線運行管理は横ばい

単位：百万円

セグメント		19年5月期 第2四半期 (利益率)	20年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
制 御 シ ス テ ム	売上	542	551	+8 (1.5%)
	利益	133 (24.6%)	125 (22.7%)	▲8 (▲6.3%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

自動車システム

- 需要が旺盛な自動運転/ADASは車載ネットワーク制御や基盤ソフトウェアが好調に推移
- 車載制御は電動化案件、変速機制御とも横ばい、エンジン制御は減少

(A D A S : 先進運転支援システム)

単位：百万円

セグメント		19年5月期 第2四半期 (利益率)	20年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
自動車システム	売上	850	969	+118 (+14.0%)
	利益	185 (21.8%)	241 (24.9%)	+56 (+30.5%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

特定情報システム

- 危機管理は開発案件増加に加え、前年は検収が下期に集中していたことから、売上・利益とも増加
- 自動運転/ADASの画像認識/識別は、横ばいで推移

単位：百万円

セグメント		19年5月期 第2四半期 (利益率)	20年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
		特定情報システム	売上	222
	利益	47 (21.4%)	60 (19.2%)	+13 (+28.3%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

組込システム

- ストレージデバイスと新ストレージ開発は堅調
- IoT建設機械ではオペレーティングシステム周辺の開発に参画するなど体制拡大
- 自動運転/ADASの基盤ソフトウェア開発で新たな案件を受注するなど堅調

単位：百万円

セグメント		19年5月期 第2四半期 (利益率)	20年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
組込システム	売上	472	512	+40 (+8.5%)
	利益	116 (24.6%)	124 (24.2%)	+7 (+6.7%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

産業・公共システム

- 鉄道保守/設備管理関連と駅務機器開発、鉄道子会社向けエンジニアリングサービスは好調に推移
- デジカメ、フォトイメージング関連で体制拡大
- 航空宇宙関連、AI関連、IoT関連は横ばい
- ロボティクス関連は開発規模が拡大

単位：百万円

セグメント		19年5月期 第2四半期 (利益率)	20年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
産業・公共システム	売上	756	915	+158 (+21.0%)
	利益	179 (23.7%)	196 (21.5%)	+17 (+9.7%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

ITサービス

- 保守/運用サービスは低収益案件から撤退し、構築業務にシフトするなど構造改革を推進中
- 構築業務はパブリッククラウド案件の受注に注力

単位：百万円

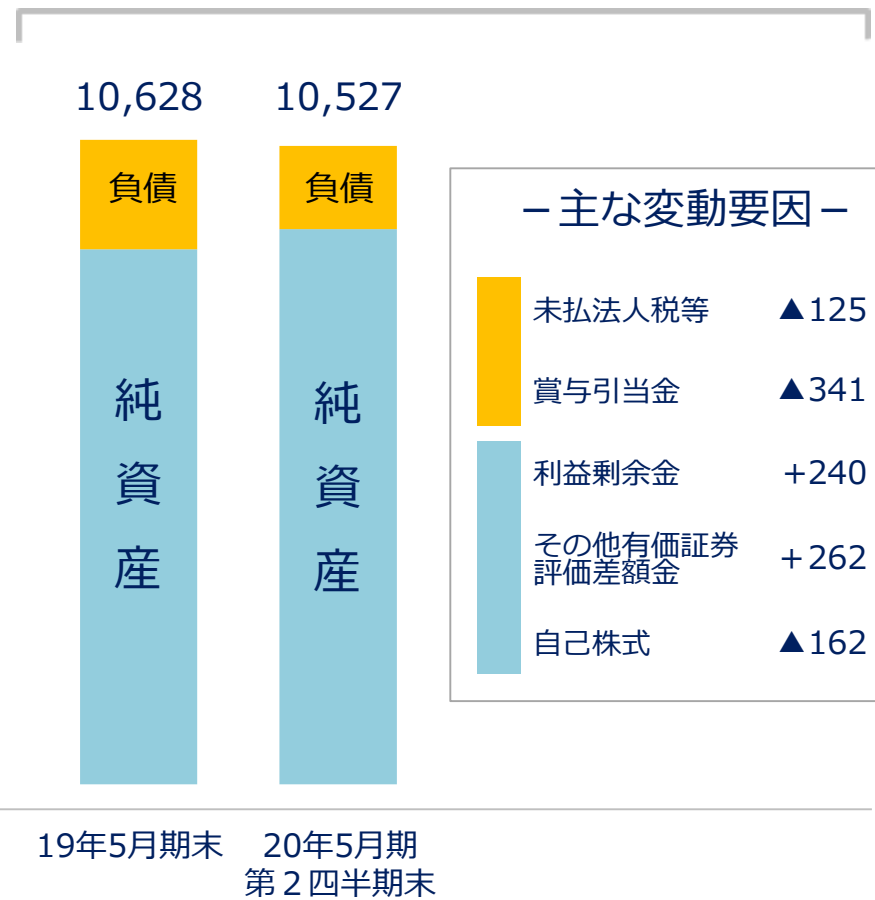
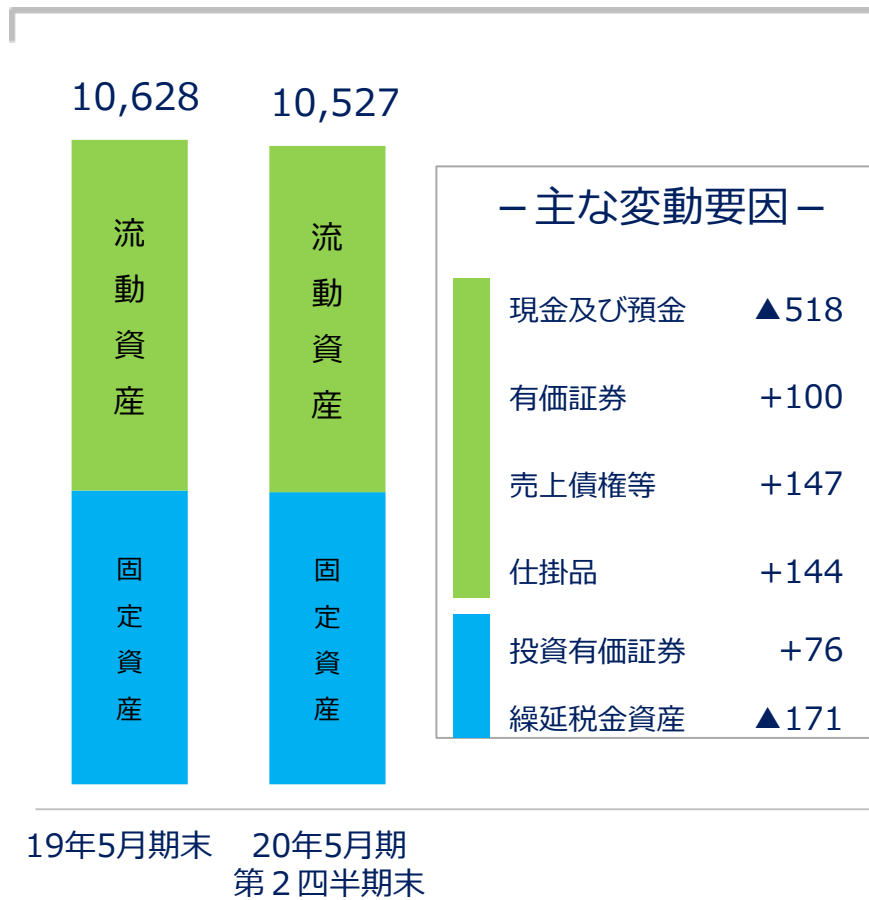
セグメント		19年5月期 第2四半期 (利益率)	20年5月期 第2四半期 (利益率)	増 減 (増減率)
ITサービス	売上	439	407	▲31 (▲7.2%)
	利益	78 (17.9%)	67 (16.7%)	▲10 (▲13.6%)

※セグメント利益には、各セグメントに配分していない全社費用は含まれていません。

資産の部

負債/純資産の部

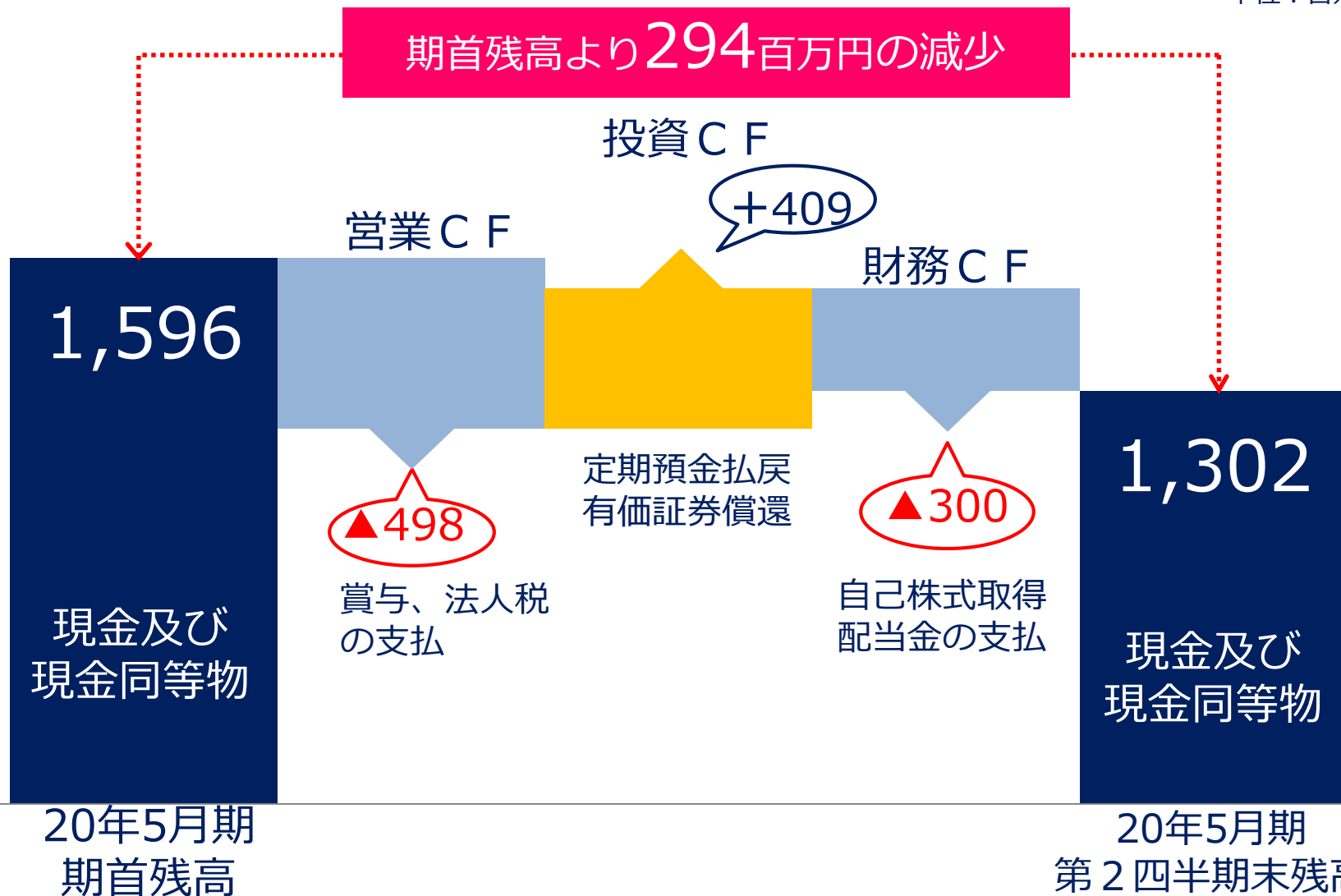
単位：百万円



財務指標（その他）

	19年5月期 第2四半期	20年5月期 第2四半期	(参考) 19年5月期
純資産額	8,799百万円	9,155百万円	8,822百万円
1株当たり純資産	894.27円	948.12円	896.61円
1株当たり四半期 (当期)純利益	25.29円	25.51円	51.09円
自己資本比率	88.0%	87.0%	83.0%
自己株式	805,287株	988,048株	805,287株
従業員数	549人	644人	560人

単位：百万円



※20年5月期第2四半期期末残高は、新規連結、為替変動による増加分95百万円を含んでおります。

1. 2020年5月期 第2四半期連結決算

2. 第5次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

中期経営ビジョン

ソフトウェアで
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する。

基本方針（2019年5月期～2021年5月期）

1. 獲得事業の主力化と新分野の開拓
 - ①自動運転/A D A S*1、I o Tを主力事業へ
 - ②A I、ネットワーク、セキュリティ、クラウド等で、
更なる注力分野を開拓
2. 持続的成長への投資
3. T - S E S（トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス）*2の継続

*1：A D A S：先進運転支援システム *2：弊社の造語

中期経営ビジョン

ソフトウェアで
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する。

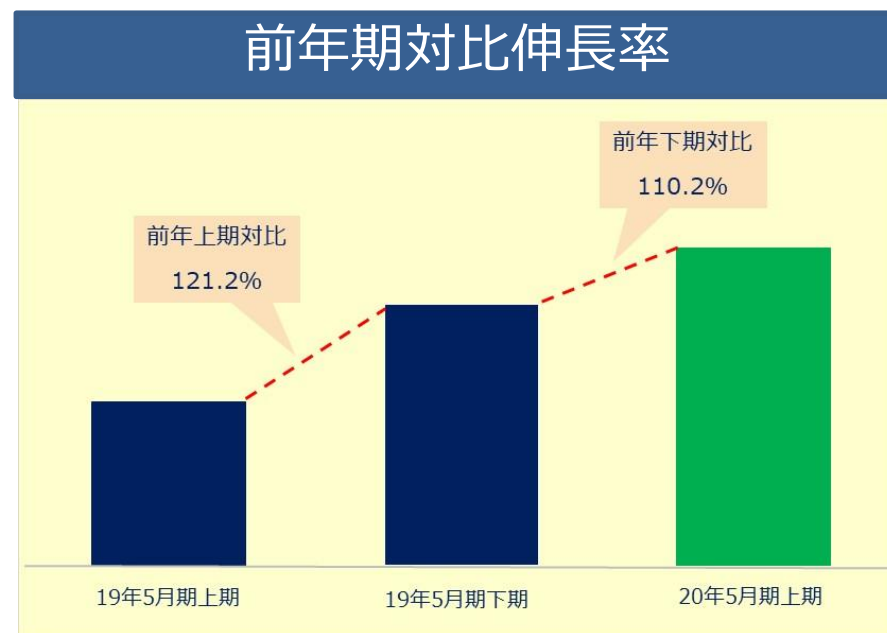
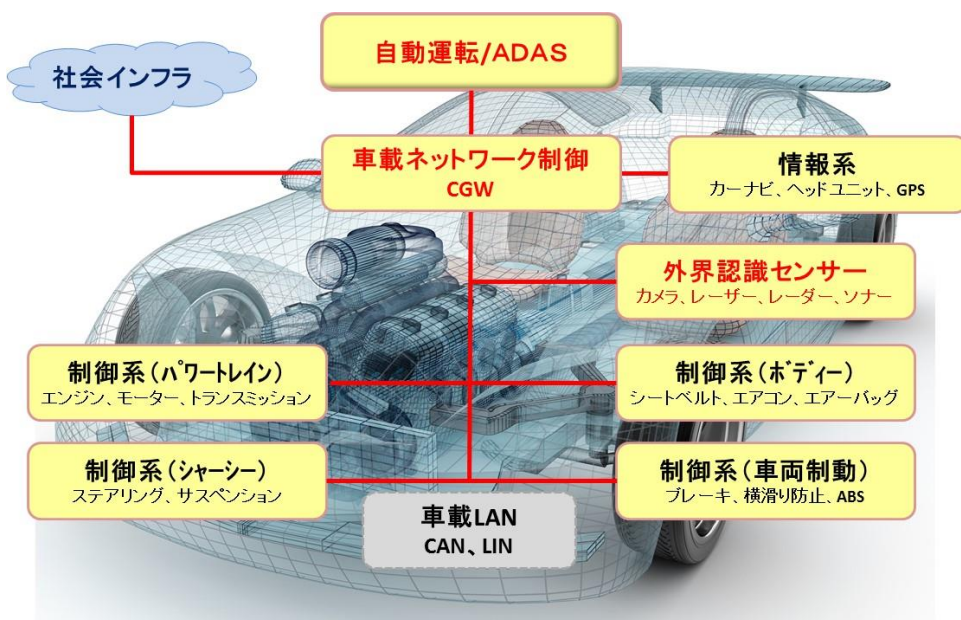
基本方針（2019年5月期～2021年5月期）

1. 獲得事業の主力化と新分野の開拓
 - ①自動運転/A D A S*1、I o Tを主力事業へ
 - ②A I、ネットワーク、セキュリティ、クラウド等で、
更なる注力分野を開拓
2. 持続的成長への投資
3. T - S E S（トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス）*2の継続

*1：A D A S：先進運転支援システム *2：弊社の造語

1 自動運転/ADAS

自動運転/ADAS分野は旺盛な需要が継続



自動車産業界再編の流れを注視しながら、
強みを生かし更なる拡大を狙う

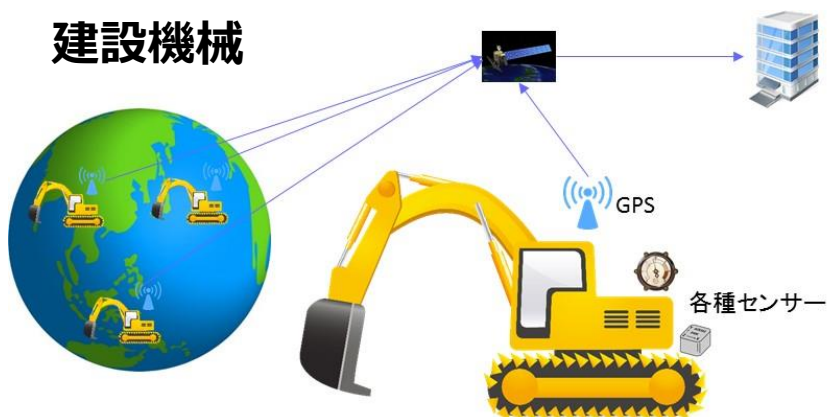
基本方針

1. 獲得事業の主力化と新分野の開拓②

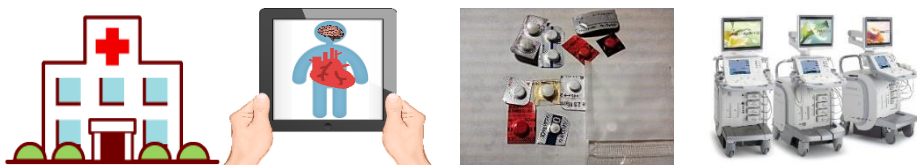
2 IoT/セキュリティ

制御系/組込系技術を組み合わせて拡大中

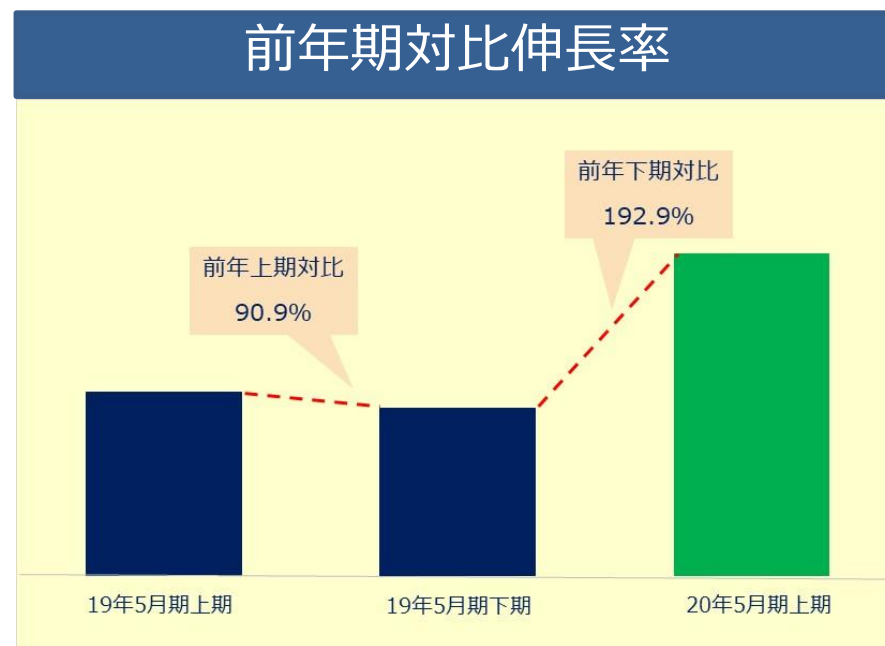
建設機械



医療機器



前年同期対比伸長率



新たな技術取得にも取組み、主力事業化を狙う

基本方針

1. 獲得事業の主力化と新分野の開拓③

3 更なる注力分野

更なる注力分野を開拓



ロボティクス/
A I

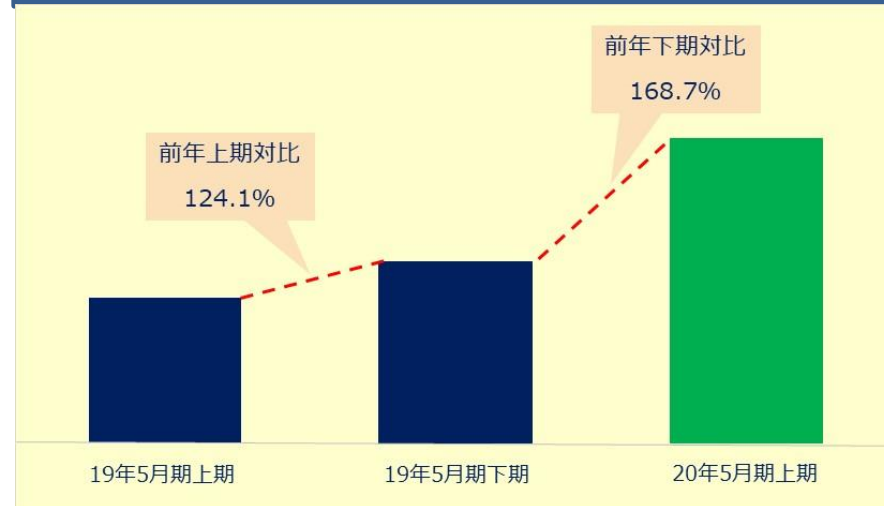


クラウド/
ネットワーク

前年同期対比伸長率



前年同期対比伸長率



既存案件の拡大、新規案件の獲得などに取組む

中期経営ビジョン

ソフトウェアで
社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献する。

基本方針（2019年5月期～2021年5月期）

1. 獲得事業の主力化と新分野の開拓
 - ①自動運転/A D A S*₁、I o Tを主力事業へ
 - ②A I、ネットワーク、セキュリティ、クラウド等で、
更なる注力分野を開拓
2. 持続的成長への投資
3. T - S E S（トータル・ソフトウェア・エンジニアリング・サービス）*₂の継続

*1：A D A S：先進運転支援システム *2：弊社の造語

企業価値向上で
★ 株主に還元

業績連動賞与

③

成果主義に
よる評価

②

売上/利益
UP

成果主義で
★ 社員に還元

①

持続的成長
への投資

生産性/品質/技術力で
★ 顧客に貢献

人材、働きやすい環境/制度、設備

2. 持続的成長への投資①

1) 働きやすい環境への投資

☞ 横浜事業所の移転/拡張（19年10月～）

- ・ [自動車][組込][特シ]の連携により更に自動車分野拡大

☞ 日立事業所リノベーション（～19年12月完）

☞ 本社を大崎に移転準備中（20年2月移転）

2) 生産設備への投資

☞ トレーサビリティ管理ツール、モデリングツール、プロジェクト管理ツール、Web会議など

3) 人材への投資

☞ 前期より継続し、全社教育&事業部ごとの教育を実施

☞ 新卒採用強化：今期23名→来期31名内定（1/9時点）

2. 持続的成長への投資②

4) 働き方改革

☞ 残業時間、過重労働、インターバル勤務の状況を
月次経営会議で共有し、残業/過重労働を削減

5) 働きやすい制度の活用と見直し

☞ 奨学金返済支援制度の利用進む

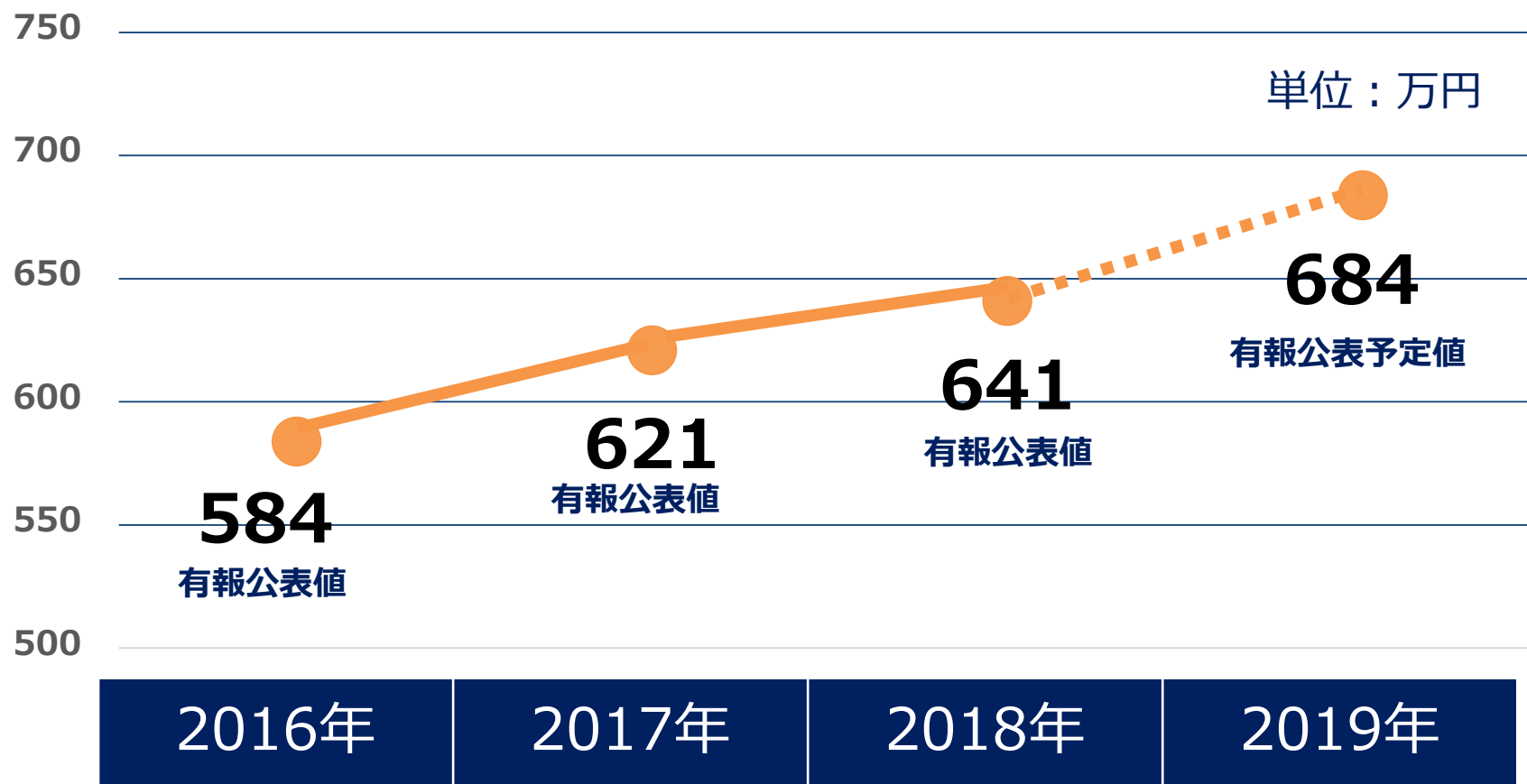
☞ 年次有給休暇の計画的付与と取得フォローの実施

6) IPD大連のオフィススペース拡張（12月未完）

☞ 採用強化の継続（今期100名→来期110名予定）

売上 前年対比+11.9%
営業利益 前年対比+14.4%

平均年収の推移（社員への還元）

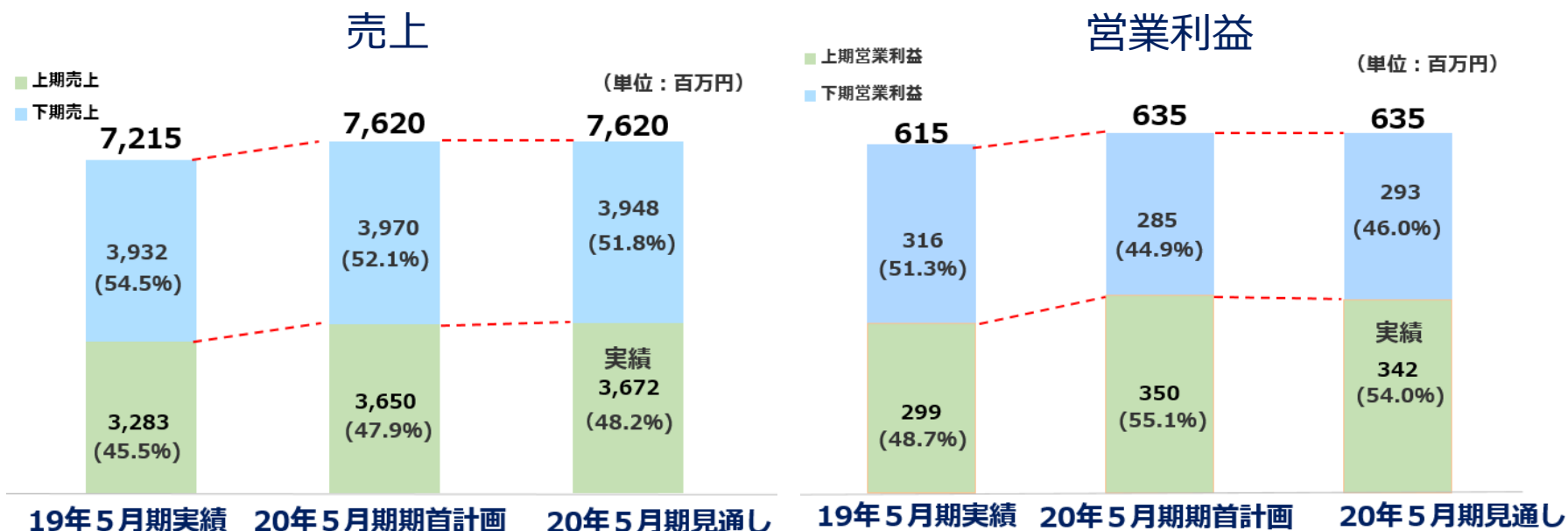


1. 2020年5月期 第2四半期連結決算

2. 第5次中期経営計画の取組み

3. 今期の見通し

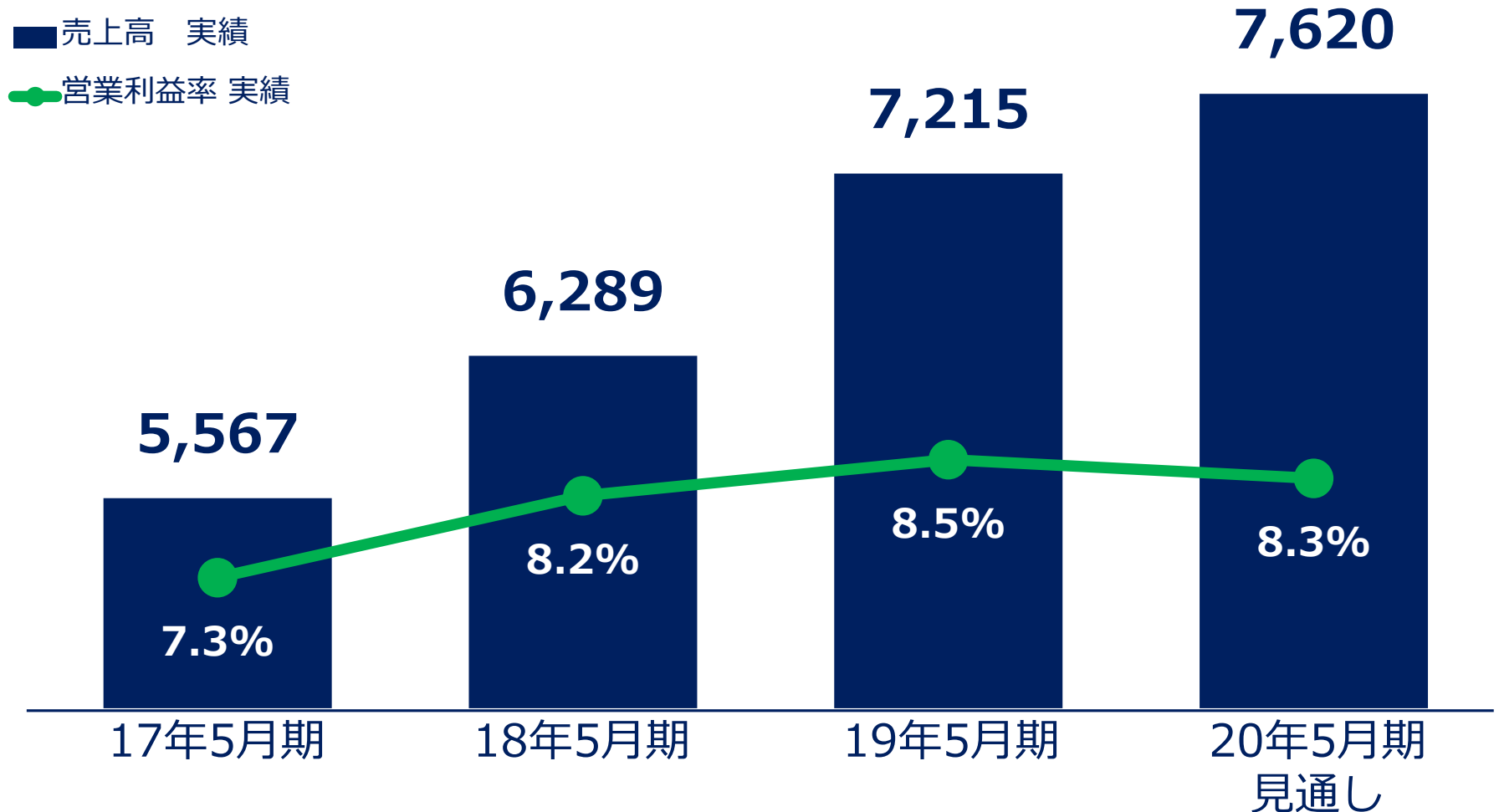
2020年5月期の見通し



【下期見通し】

- ・ 全社的には売上、利益とも、概ね計画通りに進捗する見込
- ・ I Tサービスは構造改革を継続、自動車システムは自動運転/ A D A S 好調も、車載制御が減少の見込み
- ・ 特定情報システム、組込システム、産業・公共システムは堅調の見込み
- ・ 2月本社移転費用を見込む

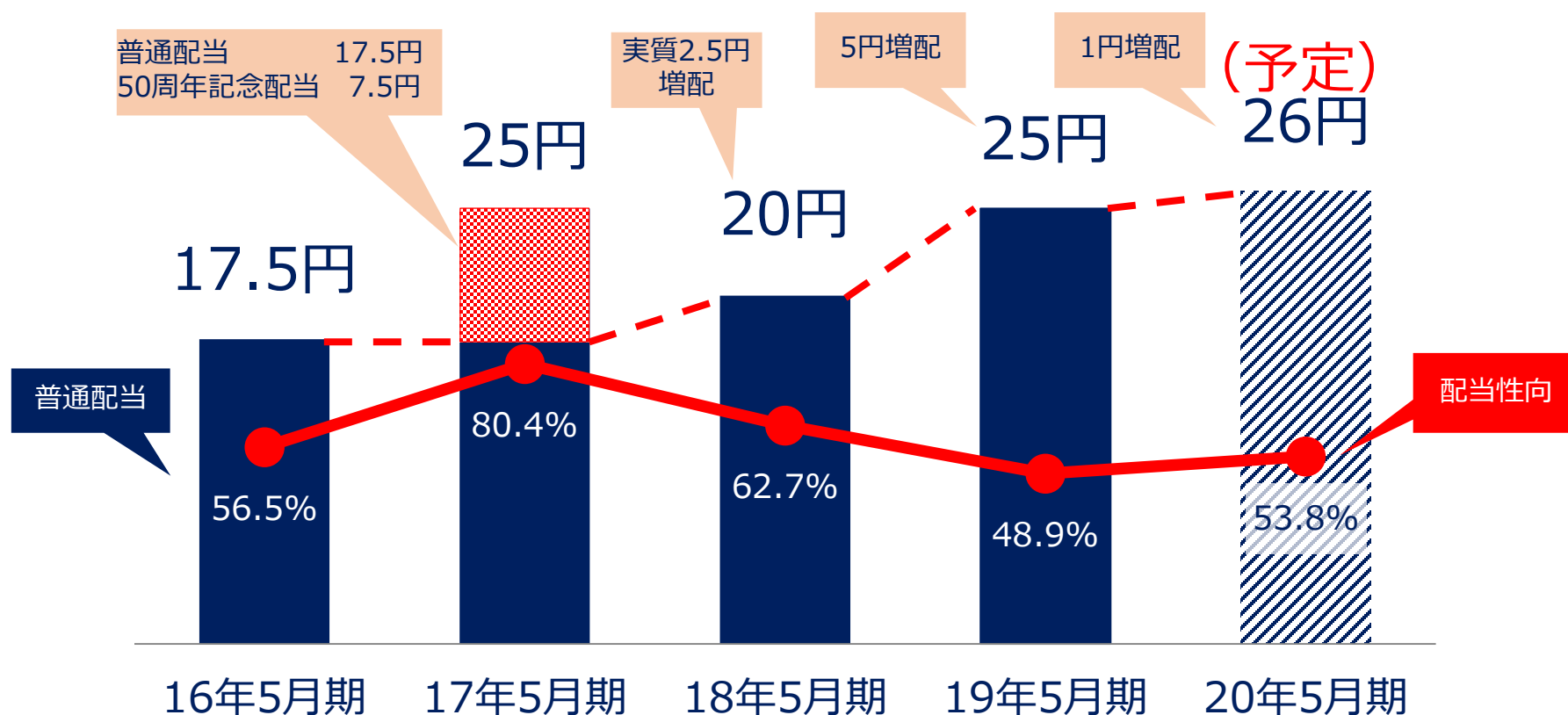
業績の推移



配当方針

① 安定的配当の継続

② 配当性向概ね50%以上を目標



※17年12月1日を効力発生日とし、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行いました。
年間配当額は、16年5月期の期首に株式分割が行われたと仮定し算定しております。

ソフトウェアで

社会インフラ分野の安全・安心、快適・便利に貢献します。

免責事項

本資料は作成時点での予測や仮説に基づく記述が含まれています。

これら将来の見通しに関する記述についてはその実現を保証するものではなく、既知、未知のリスクや各種要因により実際の結果、業績と異なることがあります。

お問合せ

経営企画部 部長 米島英紀

keikibu@jpd.co.jp



【証券コード：9651】

日本プロセス株式会社 決算説明会

2020年5月期 第2四半期



2020年1月17日